Farsightインストールマニュアル(v1.0.0)

このマニュアルは、Farsightの実行環境を構築するためのものです。 最後まで一読された上で、インストールを実行してください。 (2016年2月16日時点)

推奨環境・事前条件

以下の環境を推奨とする。

os	バージョン	その他の必須項目
Linux	Ubuntu 14.04	メモリ4GB

本インストールは依存関係解消のため、MITKのインストール完了後に実行すること。

格納ファイルについて

Zipファイル内には、以下が格納されている。

- install farsight ubuntu.sh (メインインストールスクリプト)
- script box 02 フォルダ (スクリプト集)

ここで、<mark>メインインストールスクリプトとscript_box_02フォルダは実行環境のホームディレクトリに格納</mark> **する**こと。

また、本インストーラーは、<u>ここ(Farsightダウンロードページ)</u>からダウンロードできる。

実行方法について

ホームディレクトリにて、

sh ./install farsight ubuntu.sh

とメインスクリプトを実行することでインストールが開始される。 ただし、前述した通り、<mark>メインインス</mark>トールスクリプトとscript_box_02フォルダは実行環境のホームディレクトリに格納する。こと。

Farsight実行方法について

インストールが完了すると、以下のディレクトリ構造となる。

(凡例)

- <M>: MITKインストール時に作成
- <F> :Farsightインストール時(本インストール時)に作成

```
<HOME_DIR>
install_farsight_ubuntu.sh <F>
├─ install mitk ubuntu.sh <M>
├─ script_box <M>
├─ script_box_02 <F>
└─ working dir
   ├─ boost <M>
   ├─ cmake3.4.1 <M>
   ├── farsight <F>
      Farsight-0.4.4-Linux
      | ├── bin
       | └── TraceEdit
      | ├── data
      | ├── lib
        └─ python
      Farsight-0.4.4-Linux.tar
   ├── itk4.8 <M>
   ├─ mitk2015.05.2 <M>
   ├─ vtk6.2 <M>
   └─ vxl <M>
```

Farsightアプリケーション実行

は、「<HOME_DIR>/working_dir/farsight/Farsight-0.4.4-Linux/bin 内の NucleusEditor など、必要なものを実行すれば良い。

(補足)ホームディレクトリについて

Terminalアプリケーションにて、以下を入力することで確認可能。

```
echo $HOME
```

ホームディレクトリ内に正しく格納されていれば、

```
cd $HOME && ls -al
```

にて出力された結果に、 script_box_02 フォルダと、 install_farsight_ubuntu.sh が含まれる。